

2018年12月6日

報道関係者各位

株式会社東急コミュニティー

東急コミュニティーの働き方改革
総務省主催「テレワーク先駆者百選」に選定
～ICTの利活用によるテレワークの十分な利用実績が評価～

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：雑賀克英）は、総務省が主催する「テレワーク先駆者百選」に選定されましたのでお知らせいたします。

当社では、2016年5月より在宅勤務制度、2018年1月よりモバイルワーク制度を導入し、テレワークの推進に努めてまいりました。今後も多様な従業員の活躍に向けて、柔軟な働き方が選択できる環境整備を実施いたします。

【テレワーク先駆者百選とは】

総務省がICTを利用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方であるテレワークの普及促進のため、2015年度より、テレワークの導入・活用を進めている企業・団体を「テレワーク先駆者」とし、その中から十分な実績を持つ企業等を「テレワーク先駆者百選」として公表しているものです。今年度は、新たに36社が「テレワーク先駆者百選」決定企業となりました。



テレワークにおける当社の取り組み

当社の在宅勤務制度・モバイルワーク制度は、育児・介護等の理由にかかわらず、原則として「モバイルパソコンを付与されている正社員」であれば誰でも利用可能な制度です。テレワーク導入のメリットとして、①顧客先や移動時間を利用した業務実施 ②非常時（地震等）の事業継続 ③通勤弱者（高齢者、身障者、妊娠・育児中の社員等）への対応などがあり、効率的な業務実施や優秀な人材確保への一助となります。

また、東急グループが運営するシェアオフィス『ビジネスエアポート』及び『NewWork（ニューワーク）』等も利用できる制度の活用など、グループ内のリソースを利用した働き方改革を進めております。

このように、テレワークの導入・活用を進め、さらに十分な利用実績があることが評価され、「テレワーク先駆者百選」に選定いただくことができました。今後もより一層働き方改革に注力し、柔軟な働き方の選択による幅広い従業員の活躍を推進してまいります。

【リリースに関するお問合せ】

経営企画部広報センター（担当：中嶋・伊藤）

※このニュースリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にお配りしています。